

|  |                                |       |   |                                  |           |           |           |             |
|--|--------------------------------|-------|---|----------------------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 政策体系   | 政策No.                          | 1     | 政策名   | にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり) | 施策幹事課     | 観光PR課     |           |             |
|  | 施策No.                          | 4     | 施策名   | 地域特性を生かした観光の推進                   | 施策幹事課長名   | 實徳 太      |           |             |
| 施策関係課名   | 地域政策課、商工振興課、商工観光施設課、霧島ジオパーク推進課 |       |   |                                  |           |           |           |             |
| <b>1 基本計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針</b>  |                                |       |   |                                  |           |           |           |             |
| <p>大自然に恵まれた、魅力あふれる「観光地・霧島」という認識を市民と共有し、国内外の観光客に「選ばれる」「また訪れたい」観光地づくりを目指します。</p> <p>そのため、観光客のニーズに合った観光素材の創出や活用、インターネットなどによる効果的な情報発信を推進します。</p> <p>また、「観光地・霧島」としてのブランド戦略を明確にし、市民、地域、観光関係者一体となったおもてなしや安心で快適な観光地づくりを展開します。</p>  |                                |       |   |                                  |           |           |           |             |
| <b>2 施策の成果把握</b>   |                                |       |   |                                  |           |           |           |             |
| ① 成果指標 (意図の達成度を表す指標)   |                                |       | ◎目標達成(100%以上)      △目標を未達成(100%未満)  |                                  |           |           |           |             |
|  | 単位                             | 区分    | 2018年度  | 2019年度                           | 2020年度    | 2021年度    | 2022年度    | 目標達成の方向性    |
| A 霧島市の観光に対する満足度  | %                              | 成り行き値 | 56.0  | 56.0                             | 56.0      | 56.0      | 56.0      | 更なる増加を目指します |
|  |                                | 目標値   | 57.0  | 58.0                             | 59.0      | 60.0      | 61.0      |             |
|  |                                | 実績値   |   |                                  |           |           |           |             |
|  |                                | 達成率   |   |                                  |           |           |           |             |
|  |                                | 結果    |   |                                  |           |           |           |             |
| B 観光消費額  | 百万円                            | 成り行き値 | 66,717.0  | 66,717.0                         | 66,717.0  | 66,717.0  | 66,717.0  | 更なる増加を目指します |
|  |                                | 目標値   | 67,627.0  | 68,303.0                         | 68,987.0  | 69,677.0  | 70,373.0  |             |
|  |                                | 実績値   | 66,395.7  | 65,470.0                         | 44,794.8  | 39,420.8  |           |             |
|  |                                | 達成率   | 98%   | 96%                              | 65%       | 57%       |           |             |
|  |                                | 結果    | △   | △                                | △         | △         |           |             |
| C 観光客数(宿泊+日帰り)   | 人                              | 成り行き値 | 7,567,900   | 7,567,900                        | 7,567,900 | 7,567,900 | 7,567,900 | 更なる増加を目指します |
|  |                                | 目標値   | 7,720,000   | 7,797,200                        | 7,875,200 | 7,954,000 | 8,033,500 |             |
|  |                                | 実績値   | 7,606,885   | 7,489,312                        | 5,178,046 | 4,491,954 |           |             |
|  |                                | 達成率   | 99%   | 96%                              | 66%       | 56%       |           |             |
|  |                                | 結果    | △   | △                                | △         | △         |           |             |
| D 外国人宿泊客数  | 人                              | 成り行き値 | 110,900   | 110,900                          | 110,900   | 110,900   | 110,900   | 更なる増加を目指します |
|  |                                | 目標値   | 134,200   | 147,620                          | 162,382   | 178,620   | 196,500   |             |
|  |                                | 実績値   | 138,838   | 125,995                          | 17,408    | 1,179     |           |             |
|  |                                | 達成率   | 103%  | 85%                              | 11%       | 1%        |           |             |
|  |                                | 結果    | ◎   | △                                | △         | △         |           |             |
| E 開発又は磨き上げた観光資源の数(累計)  | 本                              | 成り行き値 | 43  | 43                               | 43        | 43        | 43        | 更なる増加を目指します |
|  |                                | 目標値   | 47  | 49                               | 51        | 53        | 55        |             |
|  |                                | 実績値   | 51  | 53                               | 53        | 55        |           |             |
|  |                                | 達成率   | 109%  | 108%                             | 104%      | 104%      |           |             |
|  |                                | 結果    | ◎   | ◎                                | ◎         | ◎         |           |             |
| <b>② 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)</b>  |                                |       | <b>③ 2022年度の目標値設定の考え方</b>   |                                  |           |           |           |             |
| <p>A 霧島市の観光に対する満足度<br/>※観光総合戦略策定時に、「霧島市観光動向調査」を実施し、現状値を把握。次期、観光総合戦略策定時(2022(令和4)年度)、再度調査を実施し、実績値を把握予定。</p> <p>B 観光消費額<br/>※観光客一人当たりの消費額×観光客数(宿泊+日帰り)<br/>※観光客一人当たりの消費額とは:観光客数に消費額単価(宿泊29,000円、日帰り6,000円)を乗じた額。</p> <p>C 観光客数(宿泊+日帰り)<br/>※暦年(1月～12月)での実態を把握。<br/>※観光施設、ホテル、旅館等宿泊施設からの取得データ。</p> <p>D 外国人宿泊客数<br/>※暦年(1月～12月)での実態把握。<br/>※ホテル、旅館等宿泊施設からの取得データ。</p> <p>E 開発又は磨き上げた観光資源の数(累計)<br/>※年度(4月～3月)での実態把握。</p> |                                |       | <p>A 2017(平成29)年度の霧島市観光動向調査の「霧島市観光に対する満足度」の56%を基準として、5年間でプラス5ポイントの61%とする。</p> <p>B 2017(平成29)年の観光消費額目標値669億5800万円を基準として、5年間でプラス34億1500万円の703億7300万円とする。</p> <p>C 霧島市観光統計における観光客数(宿泊+日帰り)2017(平成29)年の目標値764万3600人を基準として、5年間でプラス38万9900人とする。</p> <p>D 霧島市観光統計における外国人宿泊者数の2017(平成29)年の目標値12万2000人を基準として、5年間でプラス7万4500人とする。</p> <p>E 2017(平成29)年度目標値の45本を基準として毎年2本ずつの増加を目指し、5年間でプラス10本とする。</p> <p>F</p> |                                  |           |           |           |             |

### 3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画より)

本市は、山や川、海などの大自然や歴史・文化、温泉、食等の魅力ある観光素材を国内外にPRしながら、観光施設や体験メニュー等の新たな観光資源の開発など、受入体制の充実に取り組んできました。  
このような中、口蹄疫や新燃岳の噴火、硫黄山火山活動及び熊本地震等の際は、地域や観光関係者が一体となって、各種キャンペーンやおもてなし活動など誘客促進につながる取組を進めてきました。  
近年は、外国人観光客を含め、個人や小団体の旅行形態が主流となっていることから、観光客のニーズに合った観光素材の創出や活用、インターネットなどによる効果的な情報発信を進めるとともに、「観光地・霧島」としてのブランド戦略を明確にし、霧島の魅力を生かした「選ばれる」観光地づくりを進める必要があります。  
また、2020(令和2)年開催の東京オリンピック・パラリンピックや鹿児島国体を見据え、引き続き、観光関係者、地域、市民の協働によるおもてなし活動を展開するとともに、インバウンド対策や二次アクセスの充実に図ることで、「また訪れたいくなる」、満足度の高い、快適な観光地づくりを進める必要があります。

### 4 施策の現状

| ①2021年度施策の取組方針  | ②2021年度の取組方針の達成状況  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>■観光客等の受入態勢の充実及びJR肥薩線の利用拡大を図るため、県の「魅力ある観光地づくり事業」により、肥薩線沿線の周遊観光ルートの整備を進める。</li><li>■シティプロモーションの取組として、SNS等を活用した市民による魅力発信を推進するとともに、メディアPRによる認知度向上を図る。</li><li>■九州新幹線やJR在来線の利用促進及び観光客の誘致を図るため、市内各駅からの二次アクセスの確保を推進する。また、観光客のニーズに応えるため、霧島連山周遊バスや妙見路線バス、霧島周遊観光バスの運行を継続するとともに、利用促進のための関係機関との協議や積極的なPRに取り組む。</li><li>■霧島ジオパークエリアを拡大するため、地球とのつながりの視点から、新たな観光資源の掘り起こしを行う。また、ジオツーリズムの活性化のため、旅行会社を対象としたツアー商品造成補助事業の実施とガイド養成講座を実施する。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>■JR肥薩線沿線の周遊観光ルート整備について、県の「魅力ある観光地づくり事業」を活用し、川崎祐宣記念公園及び丸岡公園展望台に休憩施設を整備した。</li><li>■シティセールスミーティングを実施し、PR素材の情報の共有・一元化を図るとともに、それらの情報をもとに都市圏等でシティセールス等を実施し、市の魅力を幅広く発信することができた。</li><li>■運行ルートや時刻表を掲載したパンフレットを作成し、駅や主要観光施設で配布したほか、市ホームページにも掲載したことで、利用者の利便性の向上に繋がった。</li><li>■拡大エリアにおける地域資源の掘り起こしを行い、新たな見どころとなるサイト一覧を作成し、各サイトの保全・活用状況等を示したサイトカルテを整備した。ツアー商品造成補助事業については、2事業者から申請があり、地域サイト及びジオガイドを活用したツアー商品が造成され、46人の参加があった。また、ガイド養成講座については、12人の参加があった。</li></ul> |

### 5 2022年度施策の取組方針

|   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>■観光客等の受入態勢の充実及びJR肥薩線の利用拡大を図るため、県の「魅力ある観光地づくり事業」を活用し、肥薩線沿線の周遊観光ルートの整備を進める。</li><li>■シティプロモーションの取組として、SNS等を活用した市民による魅力発信を推進するとともに、メディアPRによる認知度向上を図る。</li><li>■九州新幹線やJR在来線の利用促進及び観光客の誘致を図るため、市内各駅からの二次アクセスの維持・確保を推進する。また、観光客のニーズに応えるため、霧島連山周遊バスや妙見路線バス、霧島周遊観光バスの運行を継続するとともに、利用促進のための関係機関との協議や積極的なPRに取り組む。</li><li>■霧島ジオパークエリアの新たな観光資源の掘り起こしやサイト保全を行いながら、ジオツーリズムの活性化のため、旅行会社等を対象としたツアー商品造成補助事業及びジオガイドの能力向上のための研修等を実施する。</li></ul> |  |
|---|--|

|      |         |   |       |            |              |       |
|------|---------|---|-------|------------|--------------|-------|
| 政策体系 | 政策No.   | 1 | 基本事業名 | 国内外の観光客の誘致 | 基本事業<br>主担当課 | 観光PR課 |
|      | 施策No.   | 4 |       |            |              |       |
|      | 基本事業No. | 1 |       |            |              |       |

### 1 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

日本初の国立公園「霧島」をはじめ、本市特有の歴史や文化、豊富な温泉や食などの多種多様な観光素材、空港や鉄道、高速道路などが整備された、観光地としてのポテンシャルを最大限に生かすため、霧島市観光協会をはじめとする観光関係団体や地域と一体となった誘客活動を更に推進します。

また、国内外において本市の知名度を向上させるため、「観光地・霧島」のブランドの方向性を明確にするとともに、SNSなど市民による情報発信力の強化など、様々な手法による戦略的な情報発信の取組を推進します。

### 2 基本事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

観光客については、国内外ともに団体客から個人客に旅行形態が変わりつつあることから、個人客向けに対する旅行商品の造成をエージェンツに対して促すとともに、インターネットなどによる効果的な情報発信を更に進める必要がある。

新型コロナウイルスの影響により、2022(令和4)年6月1日現在、鹿児島空港国際線において、定期便4路線はもとより、国際チャーター便を含め全ての路線が運休している状況にあることから、インバウンド・アウトバウンド観光が減少し国内観光への需要が高まることが見込まれるため、観光客の対象や地域など、ターゲットに合わせた効果的な情報提供・PR活動を行う必要がある。

なお、2020(令和2)年7月に鹿児島空港国際線ターミナルの増改築工事が竣工し、インバウンドをはじめとする国際線利用者の受入環境が整備されている。

### 3 2021年度基本事業の取組方針

- 「観光地・霧島」の認知度向上と誘客のため、関東・中部・関西等の大都市圏でのPR活動を積極的に行う。
- シティプロモーションの取組として、SNS等を活用した市民による魅力発信を推進するとともに、メディアPRによる認知度向上を図る。
- 地球とのつながりが感じられる場所とそれにまつわる人々の暮らしを体験することができるジオツーリズムの活性化を図るため、旅行会社を対象としたツアー等の商品化を促進する。
- 日本・アジア・世界のそれぞれのジオパークネットワークを利用し、国内外からの誘客に向けたPR活動を行う。

### 4 2021年度の取組達成状況

- 鹿児島空港国際線就航路線便の運休により、外国人観光客の回復が望めない中、国内観光においては時期及びターゲットに見合ったキャンペーンの実施により、観光客の回復につなげた。
- シティセールスミーティングを実施し、各部署における「売りたいモノ、コト」に関する情報の共有・一元化を図るとともに、それらの情報をもとに都市圏でシティセールス等を実施し、市の魅力を幅広く発信することができた。また、WEBを中心としたメディア招聘事業を実施し、本市の観光、物産等の情報を広く発信することができた。
- 霧島ジオパークのサイトを生かしたツアー商品の造成を促進するため、ツアー商品造成補助事業を実施した結果、2事業者から申請があり、地域サイト及びジオガイドを活用したツアー商品が造成され、46人の参加があった。
- 霧島ジオパークの魅力を発信しPRするため、日本ジオパーク全国大会等での展示やホームページリニューアル等を行った。

### 5 2022年度基本事業の取組方針

- 「観光地・霧島」の認知度向上と誘客のため、関東・中部・関西等の大都市圏でのPR活動を積極的に行う。
- シティプロモーションの取組として、市民によるSNSやメディアによる情報発信力を活かしたPRを展開し、認知度向上を図る。
- 地球とのつながりが感じられる場所と、そこにまつわる人々の暮らしを体験することができる「ジオツーリズム」の活性化を図るため、旅行会社を対象としたツアー等の商品化を促進する。
- 日本・アジア・世界のそれぞれのジオパークネットワークを利用し、国内外からの誘客に向けたPR活動を行う。

|      |         |   |       |            |             |       |
|------|---------|---|-------|------------|-------------|-------|
| 政策体系 | 政策No.   | 1 | 基本事業名 | 観光素材の創出と活用 | 基本事業<br>担当課 | 観光PR課 |
|      | 施策No.   | 4 |       |            |             |       |
|      | 基本事業No. | 2 |       |            |             |       |

### 1 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

本市の特性である海拔0メートルから1,700メートルにわたる海、山などの恵まれた大自然の魅力を生かし、着地型(体験型)の観光メニューや観光ルートの構築、地域の食材にこだわったご当地メニューの開発や提供など「五感に響く、魅力ある、選ばれる観光地づくり」を推進します。  
また、ガイドクラブなどの活動支援や観光素材の魅力を高める取組を進めるとともに、周遊観光の促進を図るため、広域観光ルートの開発や素材の活用を推進します。

### 2 基本事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 日本ならではの文化や食、自然を生かした体験型のメニューが求められている。
- 宿泊に繋がる周遊観光を促進するため、広域的な観光素材の創出やルート開発が求められている。
- 観光客については、国内外ともに団体客から個人客に旅行形態が変わりつつあり、今後もその傾向が見込まれるため、個人向けの観光素材の創出と活用が求められている。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、海外を対象としたインバウンド・アウトバウンド観光が減少し国内観光への需要が高まることが見込まれる。全国的に観光誘客の取組が行われることから、本市の観光素材の磨き上げ、発掘、開発等を行い、他観光地との差別化を図る必要がある。

### 3 2021年度基本事業の取組方針

- 観光客等の受入態勢の充実及びJR肥薩線の利用拡大を図るため、県の「魅力ある観光地づくり事業」により、肥薩線沿線の周遊観光ルートの整備を進める。
- 環霧島会議や錦江湾奥会議など広域的な連携組織において観光素材の創出と活用を行う。
- 霧島ガストロミー推進協議会においてブランド認定制度やご当地料理等の各種事業を実施するとともに、知名度を向上させるために動画やSNSなどのデジタルコンテンツを活用した情報発信を行う。
- 霧島ガストロミー推進協議会において、農林水産物の「ゲンセン霧島」認定に関する制度設計について検討する。
- 霧島ジオパークエリアを拡大するため、地球とのつながりの視点から、新たな観光資源の掘り起こしを行う。
- ジオツーリズムの活性化を図るため、環霧島管内の行政、民間の観光担当者向けの研修を企画し情報共有と素材発掘を図る。
- ジオガイドの能力向上と新たなガイド養成のための講座を実施する。

### 4 2021年度の取組達成状況

- JR肥薩線沿線の周遊観光ルート整備について、県の「魅力ある観光地づくり事業」を活用し、川崎祐宣記念公園及び丸岡公園展望台に休憩施設を整備した。
- 環霧島地域の魅力発信を目的に、県内エージェントやメディアを対象としたモニターツアー(鹿児島県側と宮崎県側の2コース)を実施した。また、錦江湾奥の認知度向上を図るため、福岡地区の旅行会社やメディアへの合同セールスを行うとともに、当該旅行会社等の招致事業を実施した。
- 地域おこし協力隊を中心に、WEBサイト、SNS等を活用して「ゲンセン霧島」認定品等の情報等を市内外に向けて発信し、PRに繋がった。
- 農林水産物の「ゲンセン霧島」認定について、新たな審査基準を設け、令和3年度の審査から適用した。なお、農林水産物部門の新設については継続協議とした。
- 拡大エリアにおける地域資源の掘り起こしを行い、新たな見どころとなるサイト一覧を作成し、各サイトの保全・活用状況等を示したサイトカルテを整備した。
- 鹿児島県観光連盟主催の「霧島錦江湾国立公園の霧島地域と錦江湾地域を結ぶ新たな長期滞在型ツアー」の検証に、霧島ジオパーク推進連絡協議会事務局員や観光事業者等が参加し、連携を深めた。
- 霧島のガイドツーリズムの担い手である霧島ジオガイドネットワークの活動を支援した。活動は、計8回の例会や研修、他ジオパークガイドとの交流会等を実施し、お互いのスキル向上に繋がった。また、ガイド養成講座については、12人の参加があった。

### 5 2022年度基本事業の取組方針

- 観光客等の受入態勢の充実及びJR肥薩線の利用拡大を図るため、県の「魅力ある観光地づくり事業」を活用し、肥薩線沿線の周遊観光ルートの整備を進める。
- 環霧島会議や錦江湾奥会議など広域的な連携組織において、観光素材の創出と活用を行う。
- 霧島ガストロミー推進協議会において「ゲンセン霧島」認定制度やご当地料理等の各種事業を実施するとともに、知名度を向上させるため、動画やSNSなどのデジタルコンテンツを活用した情報発信を行う。
- 「ゲンセン霧島」認定制度において、農林水産物部門の新設について検討する。また、航空機を活用した産直空輸実証事業を行う。
- 霧島ジオパークエリアを拡大するため、地球とのつながりの視点から、新たな観光資源の掘り起こしを行う。
- ジオツーリズムの活性化を図るため、環霧島管内の行政、民間の観光担当者向けの研修を企画し、情報共有と素材発掘を図る。
- ジオガイドの能力向上のための研修等を実施する。

|      |         |   |       |                 |              |       |
|------|---------|---|-------|-----------------|--------------|-------|
| 政策体系 | 政策No.   | 1 | 基本事業名 | 利便性の高い観光地づくりの推進 | 基本事業<br>主担当課 | 観光PR課 |
|      | 施策No.   | 4 |       |                 |              |       |
|      | 基本事業No. | 3 |       |                 |              |       |

### 1 基本事業の目的、取組方針（総合計画より）

国際線を有する空港所在都市としての強みを生かし、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの強化を図ります。誰もが安心、快適に観光できるよう、施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi及び超高速ブロードバンド環境の整備を促進します。

さらに、増加傾向にある外国人観光客の受入体制を強化するとともに、本市特有の自然、景観、歴史、文化を生かした観光地づくりを推進します。

### 2 基本事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか？

- 国内外ともに個人や小グループの旅行者が増加し、貸切バスを利用した物見型観光から自ら観光地や宿泊地を選択し、レンタカーやバス、鉄道を利用したフリーの観光が増加している。
- 外国人観光客が増加傾向にあり、超高速ブロードバンド環境の整備や外国語表記を掲載した看板、外国語変換ツール、パンフレットなどの充実が求められている。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、海外を対象としたインバウンド・アウトバウンド観光が減少し国内観光への需要が高まることが見込まれる。観光客が周遊や滞在する際に、安心安全な環境を提供できるよう、新しい生活様式に対応した受入体制の整備が必要である。

### 3 2021年度基本事業の取組方針

- JR肥薩線沿線の活性化を図るため、駅を中心としたウォーキングコースを整備し、新たにマップ等を作成し、観光客の周遊を促す。
- 九州新幹線やJR在来線の利用促進及び観光客の誘致を図るため、市内各駅からの二次アクセスの確保を推進する。また、観光客のニーズに応えるため、霧島連山周遊バスや妙見路線バス、霧島周遊観光バスの運行を継続するとともに、利用促進のための関係機関との協議や積極的なPRに取り組む。
- 2022（令和4）年度に霧島ジオパークエリアを拡大するため、地球とのつながりの視点から、新たな観光資源の掘り起こしを行い、案内看板を設置する。

### 4 2021年度の取組達成状況

- JR肥薩線沿線の各駅を拠点としたウォーキングコースについては、2021年度から大隅横川駅エリアの整備を進めているが、同エリアにおける道標等が未整備であり、現時点では周遊ができないため、新たなマップ等の作成まで至っていない。
- 「肥薩線を活かしたまちづくりプロジェクト」への参画を通じ、会議出席者同士や運営事務局との連携体制が構築されるなど、具体的施策の展開に必要な体制等が築かれた。また、運行ルートや時刻表を掲載したパンフレットを作成し、駅や主要観光施設で配布したほか、市ホームページにも掲載したことで、利用者の利便性の向上に繋がった。
- 拡大エリアにおける地域資源の掘り起こしを行い新たな見どころとなるサイト一覧を作成し、各サイトの保全・活用状況等を示したサイトカルテを整備した。また、各サイトの案内看板については、年次的に更新していくこととし、今年度は4箇所改修を行った。

### 5 2022年度基本事業の取組方針

- コロナ禍におけるテレワークやワーケーションなどの多様な働き方に対応するため、霧島高原国民休養地及び国分キャンプ海水浴場のコテージ等にWi-Fi環境を整備することにより、施設の新たな利用形態を創出し、併せて施設への誘客促進を図る。
- JR肥薩線沿線の活性化を図るため、駅を中心としたウォーキングコースの道標等を設置し、観光客の周遊を促す。
- 九州新幹線やJR在来線の利用促進及び観光客の誘致を図るため、市内各駅からの二次アクセスの維持・確保を推進する。また、観光客のニーズに応えるため、霧島連山周遊バスや妙見路線バス、霧島周遊観光バスの運行を継続するとともに、利用促進のための関係機関との協議や積極的なPRに取り組む。
- 霧島ジオパークエリアの新たな観光資源の掘り起こしを行い、案内看板を設置する。

## 第二次霧島市総合計画(前期基本計画)総括シート

|   |                     |  |             |  |   |           |           |  |           |           |
|---|---------------------|--|-------------|--|---|-----------|-----------|--|-----------|-----------|
| 政策体系  | 政策No.               | 1  | 政策名         | にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)   |   |           |           | 施策幹事課  |           |           |
|   | 施策No.               | 4  | 施策名         | 地域特性を生かした観光の推進   |   |           |           | 観光PR課  |           |           |
| 計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針 (総合計画書から引用)  |                     |  |             |  |   |           |           | 関係課  |           |           |
| <p>大自然に恵まれた、魅力あふれる「観光地・霧島」という認識を市民と共有し、国内外の観光客に「選ばれる」「また訪れたくなる」観光地づくりを目指します。</p> <p>そのため、観光客のニーズに合った観光素材の創出や活用、インターネットなどによる効果的な情報発信を推進します。</p> <p>また、「観光地・霧島」としてのブランド戦略を明確にし、市民、地域、観光関係者一体となったおもてなしや安心で快適な観光地づくりを展開します。</p>   |                     |  |             |  |   |           |           | <p>地域政策課、商工振興課、商工観光施設課、霧島ジオパーク推進課</p>  |           |           |
| 施策の方針に対する達成状況(2018～2021)  |                     |  |             | 次期計画への課題   |   |           |           |  |           |           |
| <p>■シティセールス活動やメディア、SNS等を活用し、本市の魅力や観光情報等を発信することで、知名度向上、観光客誘致に繋がった。</p> <p>■コロナ禍においても時期やターゲットを見極めた上で誘客キャンペーンを実施したことで、観光客の誘致に繋がった。また、海外向けにも情報発信を行い、鹿児島空港の国際線再開に向けて、本市の魅力や観光情報等のPRに努めた。</p> <p>■日当山西郷どん村の開業により、新たな本市の観光推進の拠点が整備された。また、観光施設の整備により、観光客等に快適な利用環境を提供することができた。</p> <p>■霧島ジオパークの拡大エリアの地域資源の掘り起こしを行い、新たに見どころとなるサイトの保全・活用状況等を示したサイトカルテを整備したほか、モニターツアーの実施により地域の遺産を活かす事例の共有と観光素材の活用方法を見出した。</p> <p>■環霧島会議や錦江湾奥会議の各種取組により、広域連携のスケールメリットを活かした周遊観光の推進に繋がった。</p> <p>■霧島周遊観光バス等の運行を通じて、観光地への利便性や回遊性の向上が図られた。</p> |                     |  |             | <p>■「観光地・霧島」の更なる知名度向上に向けた新たなPR手法等を検討する必要がある。</p> <p>■新型コロナウイルス感染症の状況により、時期やターゲットを見極めて事業を実施する必要がある。</p> <p>■日当山西郷どん村の更なる情報発信を通して、観光誘客及び周辺地域の活性化を図る。</p> <p>■観光素材のひとつとして、ジオパークサイトの情報発信とガイドツアーの推進に取り組む必要がある。</p> <p>■これまでの環霧島会議や錦江湾奥会議の取組の成果や必要性を適切に検証し、アフターコロナを見据えた効果的な事業への展開を図っていく必要がある。</p> <p>■観光客の更なる利便性向上を図るために、利用者のニーズに合わせた運行ルートやダイヤ等を検討する必要がある。</p> <p>■コロナ禍における施設の新たな利用形態の創出や利便性の向上を図り、施設への誘客を促進する必要がある。</p> |   |           |           |  |           |           |
| 成果指標<br>(意図の達成度を表す指標)   |                     | ◎目標達成(100%以上)      △目標を未達成(100%未満)   |             |  |   |           |           |  |           |           |
|   |                     | 単位   | 目標達成の方向性    | 区分   | 2018年度  | 2019年度    | 2020年度    | 2021年度   | 2022年度    | 達成率<br>結果 |
| A   | 霧島市の観光に対する満足度       | %  | 更なる増加を目指します | 目標値  | 57.0  | 58.0      | 59.0      | 60.0   | 61.0      |           |
|   |                     |  |             | 実績値  | -   | -         | -         | -  | -         |           |
| B   | 観光消費額               | 百万円  | 更なる増加を目指します | 目標値  | 67,627.0  | 68,303.0  | 68,987.0  | 69,677.0   | 70,373.0  | 57.0%     |
|   |                     |  |             | 実績値  | 66,395.7  | 65,470.0  | 44,794.8  | 39,420.8   | -         | △         |
| C   | 観光客数(宿泊+日帰り)        | 人  | 更なる増加を目指します | 目標値  | 7,720,000   | 7,797,200 | 7,875,200 | 7,954,000  | 8,033,500 | 56.0%     |
|   |                     |  |             | 実績値  | 7,606,885   | 7,489,312 | 5,178,046 | 4,491,954  | -         | △         |
| D   | 外国人宿泊客数             | 人  | 更なる増加を目指します | 目標値  | 134,200   | 147,620   | 162,382   | 178,620  | 196,500   | 1.0%      |
|   |                     |  |             | 実績値  | 138,838   | 125,995   | 17,408    | 1,179  | -         | △         |
| E   | 開発又は磨き上げた観光資源の数(累計) | 本  | 更なる増加を目指します | 目標値  | 47.0  | 49.0      | 51.0      | 53.0   | 55.0      | 104.0%    |
|   |                     |  |             | 実績値  | 51.0  | 53.0      | 53.0      | 53.0   | -         | ◎         |
| 基本事業  |                     | 4年間の取組内容   |             |  | 4年間の取組成果  |           |           | 次期計画への課題   |           |           |
| ①国内外の観光客の誘致   |                     | <p>■観光客誘客のための素材説明会やエージェント訪問、メディアキャラバン等を実施した。</p> <p>■認知度向上を図るため、SNS等を活用し、市の魅力や観光情報等を発信した。</p> <p>■コロナ禍での誘客キャンペーンを実施した。</p> <p>■鹿児島空港の国際線就航・地域へのセールスや海外向けの情報発信を行った。</p> |             |  | <p>■テレビ、新聞、雑誌、WEBなど多数の媒体やSNSを活用し、本市の魅力や観光情報等を発信することで、認知度向上に繋がった。</p> <p>■コロナ禍においても時期やターゲットを見極めてキャンペーンを実施したことで、誘客に繋がった。</p> <p>■鹿児島空港の国際線再開を見据えた海外向けの情報発信を行った。</p> |           |           | <p>■「観光地・霧島」の更なる知名度向上に向けた新たなPR手法等を検討する。</p> <p>■新型コロナウイルス感染症の状況により、時期やターゲットを見極めて事業を検討する。</p> |           |           |

| 基本事業             | 4年間の取組内容  | 4年間の取組成果   | 次期計画への課題  |
|------------------|---|--|---|
| ②観光素材の創出と活用      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■物産館及び観光案内所等が一体となった日当山西郷どん村の運営を開始した。</li> <li>■肥薩線沿線の周遊観光ルート整備(県事業)により、川崎祐宣記念公園及び丸岡公園展望台に休憩施設を整備した。</li> <li>■霧島ジオパークのエリアを拡大するため、新たな地域資源の掘り起こしを行った。</li> <li>■環霧島管内の関係者を対象としたモニターツアーを実施した。</li> <li>■霧島ジオガイドネットワークの活動支援及びガイド養成講座を実施した。</li> <li>■環霧島会議及び錦江湾奥会議の構成市町が連携して、旅行エージェントやマスコミを招聘したモニターツアー等を実施した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■観光協会や日当山西郷どん村の管理運営事業者と連携して、施設の利用促進や地域の活性化を図ることができた。</li> <li>■各公園に休憩施設を整備したことにより、観光客等に快適な利用環境を提供することができた。</li> <li>■拡大エリアの地域資源の掘り起こしを行い、新たに見どころとなるジオパークサイトの保全・活用状況等を示したサイトカルテを整備した。</li> <li>■モニターツアーの実施により、地域の遺産を活かす事例の共有と観光素材の活用方法を見出した。</li> <li>■ジオガイドのスキル向上と新たな人材育成に繋がった。</li> <li>■環霧島会議や錦江湾奥会議の構成市町が連携してモニターツアーや合同セールスを実施することにより、事業実施に係るスケールメリットが図られ、行政区域を超えた周遊観光の推進に繋がった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■日当山西郷どん村の更なる情報発信を行い、観光誘客及び周辺地域の活性化を図る。</li> <li>■順次、整備を進める肥薩線沿線の周遊観光ルートの活用により、観光誘客及びJR肥薩線の利用拡大を図る。</li> <li>■ホームページ等を活用したジオパークサイトの情報発信を行う。</li> <li>■地域資源を活用したガイドツアーを推進する。</li> <li>■これまでの環霧島会議や錦江湾奥会議の取組の事業効果や必要性を適切に検証し、アフターコロナを見据えた効果的な事業への転換を図る。</li> </ul>           |
| ③利便性の高い観光地づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■霧島高原国民休養地において新たなトイレの設置や入浴施設のリニューアルを行った。また、西郷公園にレストランを併設したコワーキングスペースが指定管理者により整備された。</li> <li>■隼人駅構内のバリアフリー化を推進するため、JR九州が整備を進めてきたエレベーターや多目的トイレの設置などに対する支援を行った。</li> <li>■霧島周遊観光バス運行ルートを充実させた。(2018年度に海コースを新設)</li> <li>■観光バス等の運行ルートや時刻表を掲載したパンフレットを作成し、配布した。また、市ホームページにも掲載し、周知を図った。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>■新たな施設整備により、施設利用者の利便性の向上が図られた。また、西郷公園にコワーキングスペース等が整備されたことで、施設の新たな利用形態の創出が図られた。</li> <li>■隼人駅のエレベーター設置や案内板の多言語表記を通じ、高齢者、障がい者を含む国内外の旅行者が安心して移動できる環境が整備された。</li> <li>■霧島周遊観光バスや霧島連山周遊バスの運行を通じて、観光地への利便性や回遊性の向上が図られた。</li> <li>■観光バス等の運行ルートや時刻表を掲載したパンフレットを作成し、駅や主要観光施設で配布したほか、市ホームページにも掲載したことで、利用者の利便性の向上に繋がった。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■コロナ禍における施設の新たな利用形態の創出や利便性の向上を図り、施設への誘客を促進する。</li> <li>■霧島神宮の国宝指定に伴い霧島神宮駅の観光客利用者の増加が見込まれることから、今後も継続して、JR九州(株)に対し、バリアフリー化(エレベーター設置)を要望していく必要がある。</li> <li>■国内外観光客の移動ニーズ等を踏まえ、鹿児島空港、丸尾、霧島神宮、霧島神宮駅等を周遊する移動手段の確保に努める。</li> <li>■利用者のニーズに合わせた運行ルートやダイヤ等の設定と適切な周知を行う。</li> </ul> |